CRT 栃木放送『開倫塾の時間』林明夫の歩きながら考える	2025 年 6 月 21 日(土)放送内容資料

2025 年 6 月 20 日(金)9:00 から CRT スタジオで収録

模擬試験の活用で、第一志望校合格を

開倫塾
塾長　林明夫

Q：「模擬試験の最大活用で第一志望校合格を」とは何ですか。
A：「模擬試験を最大活用し、第一希望校合格を果たそう」という意味です。

Q：ではお聞きします。どのように、最大活用すればいいのですか。
A：各々の入学試験にいちばんふさわしい「模擬試験」を「毎回、きちんきちんと受験」することです。

Q：「きちんきちんと、毎回の、模擬試験を受験する」とはどういうことですか。
A：(1)「できるだけていねいに準備をしてから、毎回の、模擬試験を受験すること」が第一です。

(2)「模擬試験受験後は、できるだけていねいに復習。誤答分析を行い、得意分野はさらに伸ばす、不得意分野は、わからないところまで遡って、基礎から学びなおすこと」が第二です。
(3)「模擬試験の問題本文」と「解答解説」を「学校の教科書や参考書を学ぶのと同じように、ていねいに理解し、スミからスミまで、全部覚える・身に着ける」ことが第三です。

Q：「第一」から「第三」まで、一つ一つ、わかりやすく説明してください。まず第一の「できるだけていねいに準備してから、模擬試験を受験する」とは何ですか。
A：(1)①模擬試験が終了したその日から、次回の模擬試験の「試験範囲表」に基づき、「試験対策勉強」を行うことです。
②「教科書」や「参考書」で次回の「試験範囲」の内容を、スミからスミまで「理解」(意味のわからないことばは、すべて辞書で調べる)、全部「覚える」ことをおすすめします。
③「全部覚える」のに効果が上がるのが、「音読練習(暗唱)」と「書き取り練習(暗写)」「計算・問題練習」の 3 つの練習(定着のための 3 大練習です)。
(2)①数年分の「過去問(同じ時期に行われた、過去数年分の模擬試験の問題)」を、試験時間を守り、試験 1 か月以上前に解く。
②次に、間違えた問題や、よくできなかった問題について、何故間違えたのか、なぜできなかったのかを、徹底的に分析(これを「誤答分析」といいます)。
③この準備には、1 か月以上時間がかかります。ですから、1 か月～2・3 か月かけて対策を立てることをおすすめします。

(3)①一番いいのは、今回の模擬試験が終了した、その日から、次の「模擬試験」の「試験範囲」の勉強をスタートすることです。

②そして、一通り、「教科書」や「参考書」で「模擬試験の出題範囲」の勉強が終了したら、「過去何年かの、模擬試験」を解いてみる。
③そして、「次回の模擬試験に備える」ことです。

Q：今回の模擬試験が終わったら、どうすればよいのですか。

A：(1)①「今回受験した模擬試験」の各教科の全部の「問題」を、一問一問、全部、「ノート」に、解き直すこと。
②「解き直し終わったら、「全部の問題文、設問、選択肢、解答解説」を「ていねいに読み込み」「理解」する。
③もし、意味のわからない言葉があれば、辞書で調べる。
(2)「今回の模試結果について、誤答分析」。「知識不足」で間違えた場合には、教科書や参考書で、よくわからないところまで遡り、じっくり、「学び直し」を。
(3)「解答解説」は、「模擬試験」を執筆なさった先生方からの「熱いメッセージ」です。学校や、開倫塾の先生方の「授業」を聞くのと同じ熱心さで、一語一語かみしめながら、大切に、大切に、お読み、「内容の理解」にお励みください。

Q：え、「解答解説」も、学校の先生の授業を聞くようなつもりで、きちんと、一語一語、ていねいに「理解」した方がいいのですか。

A：その通りです。
(1)まずは、「解説解答」の内容を、きちんと理解すること。
(2)「解答解説」の内容が理解出来たら、「音読練習(暗唱)」「書き取り練習(暗記・暗写)」「計算・問題練習」に励み、「解答解説」の内容も「スミからスミまで全部覚える・身に着ける」ことをおすすめいたします。
(3)①「試験問題の本文・設問・選択肢はもちろん、解答・解説」まで、全てを、「学校の教科書を学ぶのと、全く同じ熱心さで、ていねいに理解し、『定着のための 3 大練習』をていねいに行う。
②そして、「問題文の本文」はもちろん、「解答解説『スミからスミまで、全部覚える』こと。
③これは、英検や漢検、数検などの検定試験にも、司法試験や、公認会計士試験、税理士試験、医師国家試験、国家公務員試験、地方公務員試験など、すべての試験勉強に役立ちます。

Q：最後に一言どうぞ。

A：(1)入学試験はもちろん、模擬試験の問題を作り、模範解答や、解説を執筆なさる先生方は、受験生もの皆様がしっかり勉強した成果を、できるだけ正しく評価ができる問題の作成を目指しています。
(2)同時に、問題を解いた後、学校の授業で解答解説の授業をするようなていねいさで、できるだけわかりやすく「解答解説」を執筆し、その試験を受験した皆様の学力向上に役立ててもらいたいとの思いで、「解答解説」を執筆して下さっています。
(3)そのような熱い思いを、感じながら、一度解いた問題をもう一度やり直し、「解答解説」をお読みください。

よろしくお願いいたします。
お身体お大切に。

2025 年 6 月 20 日(金)